

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、購買活動が活発になると予想する。
	◎	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は徐々にピークアウトしていき、春頃から景気はかなり良くなると思う。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、春頃から人が動き出すと予想する。
	○	百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が高止まりしている現状を鑑みると、先行きに不透明感がある。しかし、過去の傾向をみると、感染の波はおよそ3か月周期であるため、春先には現状が一段落し、徐々に景気が回復すると推測する。
	○	コンビニ（商品担当）	・3回目のワクチン接種や春の新生活がスタートすることで、人流が増加し経済活動が活発化すると思う。
	○	衣料品専門店（経営者）	・現時点で売上は堅調に推移しており、暖かくなると春物の服が売れるようになることから、本格的に景気が回復すると期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・3～4月頃には売上が少し良くなると思う。
	○	都市型ホテル（経営者）	・先々の予約の動きが回復傾向にある。
	○	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されれば、徐々に夜の街にも人が出てくると予想する。このまま新型コロナウイルス新規感染者数が減少すれば、春頃にはお遍路の仕事が多少入ると予想されるため、状況は少し良くなると思う。
	○	通信会社（営業部長）	・半導体不足による納入遅延がほぼ解消されてきており、景気が徐々に上向くと予想する。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により客の動きは停滞傾向にある。今後は新生活のスタートによる経済活動の活性化を期待したい。
	○	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化しているが、設備投資を開始する客が徐々に増えており、経済優先という雰囲気を感じる。
	□	商店街（事務局長）	・富裕層の消費は高額品を中心に相変わらず旺盛であるが、ここに来て株価の低迷が続いており、今後の消費動向に影を落とさないか懸念している。新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大はピークを迎えたと思われるが、多くの人が安心して外出できるまでにはあと数か月掛かるとみられる。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況を予想することが難しく、先行きは不透明である。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数や死者数が減少すれば、前年末のように街に人が戻ると思うが、もうしばらくはこのままの状況が続くと予想する。燃料費や商品の仕入価格の高騰といった懸念要因もあるため先行きは不透明である。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が急増したことで景気が低迷しており、依然として消費者の財布のひもは固いままである。
	□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況のなか、ウクライナ情勢による株価下落といった不安材料もあり、先行きは不透明である。
	□	スーパー（企画担当）	・4～5月頃まで一部商品の値上げが続くため、前倒し需要が続くと予想する。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数の今後の増減次第であるが、現状維持程度で推移すると予想する。
	□	コンビニ（総務）	・今後も状況は変わらない。
□	家電量販店（店員）	・様々な商品が値上げされていることを懸念し、客が購入をちゅうちょしている感じが目受けられ、今後も買い控えが続くと予想する。	
□	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルス第6波が落ち着いても、現状はしばらく変わらないと思う。	
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収束し、自動車の部品不足が解消されない限り現状は変わらない。	
□	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルス感染症の終息状況次第である。	

	□	一般レストラン（経営者）	・アフターコロナになれば多少景気は良くなるが、収入が減少している人も多くいるため、新型コロナウイルス発生前のような状況に戻るまでには時間を要すると思う。
	□	スナック（経営者）	・国や地方自治体のトップが経済活動再開に向けた前向きなメッセージを発信しなければ街には人は戻らず、現状が続くと思う。
	□	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、Go To Travelキャンペーンが再開されれば景気は良くなると思うが、しばらくは現状が続くと予想する。
	□	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されたとしても、すぐに夜の街に人が戻るとは考えづらい。日中も客は足早に自宅に帰るという状況が続いており、状況がすぐに良くなるとは思えない。
	□	通信会社（社員）	・しばらくは現状が続くと思う。
	□	競輪競馬（マネージャー）	・3回目のワクチン接種が始まったが、新型コロナウイルスオミクロン株の変異株も確認もされており、感染の収束時期が不透明であることから状況は変わらないと予想する。
	□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	□	美容室（経営者）	・同じような状況が長く続いているため、この先も良くも悪くもならないと思う。
	▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしていることに加え、3回目ワクチン接種の進捗状況が芳しくなく、客が安心してレジャーを楽しむことができる時期はしばらく先になる。さらに、原油価格の高騰等による商品の値上げが始まってきており、消費が低迷すると予想する。
	▲	商店街（代表者）	・日々状況が激しく変化しており、先を見通すことが困難であるが、好転的な予測をすることは難しいと思う。
	▲	スーパー（店長）	・度重なる値上げにより消費が低迷すると予想する。
	▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことで、客が再び外食や大手商業施設に流れ、売上が減少すると予想する。
	▲	コンビニ（店長）	・夕方からの早い時間から翌朝までの間、来客数が激減しており、今後もこの傾向は続くと思予想する。
	▲	乗用車販売業（営業担当）	・4月以降は来客数、契約者数共に落ち込むと予想する。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・燃料及び穀物等の値上げに加え、ウクライナ情勢等の地政学的リスクもあるため、今後はますます状況が厳しくなると予想する。
	▲	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が長期化しており、景気が悪化すると思う。
	▲	観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が依然として高止まりの状態であり、景気は悪化すると予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、ウクライナ情勢の影響もあるため、景気は更に悪化すると思う。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	・まん延防止等重点措置が解除されたとしても、激減した売上を取り戻すまでの回復は期待できない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況は収束に向かう可能性があるが、ウクライナ情勢の影響による物価の上昇が観光産業に更なる打撃を与え、状況は悪化すると思う。
企業 動向 関連 (四国)	◎	*	*
	○	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が徐々に減少し、飲食業や観光業も徐々に回復すると推測する。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・除菌や掃除用ウェットクリーナーは、新型コロナウイルスの影響もあり同業他社や新規参入企業が力を入れてきているので、需要は高いが供給量も多く、売上は余り伸びない。
	○	鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気が上向くと思う。
	○	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス第6波がピークを過ぎ、3回目のワクチン接種も進んでいくことから、景気は回復基調になると予想する。
	○	広告代理店（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されると同時に3回目のワクチン接種も進むと予想されるため、新年度から観光関連の販促イベントが少しずつ復活することを期待している。
	□	木材木製品製造業（営業部長）	・材料の供給が十分ではないため、納期対応と生産が不安定な状態が継続すると予想する。今後、燃料費の上昇が懸念されており、コストアップ交渉に注力する必要があると考えている。

	□	建設業（経営者）	・引き続き民間工事の件数が少ない状況が続くと思う。
	□	輸送業（営業）	・世界情勢に対する不透明感から国際原油市場では7年半ぶりに1バレル当たり100ドル超まで上昇しており、今後も不安定な高止まり状態が続くと予想される。このため、物流事業者にとっては燃料油の値上げが経営を圧迫する深刻な問題となっている。また、原油価格の上昇がインフレに拍車を掛けることは必至であり、消費財の値上げによる消費低迷が取扱物量の低下となって影響すると予想する。
	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くめどが立つまでは、現状が継続すると予想する。
	□	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、消費者行動が活発化し経済は循環するが、感染拡大と消費行動停滞のサイクルが続いており、今後も景気は変わらないと予想する。
	▲	農林水産業（職員）	・日配品の値上がりにより利益率が下降するなか、青果物を利益商材とする量販店が多い傾向にある。一方、青果物の生産者は肥料や農薬等の生産費上昇による利益率の低下で、生産意欲が減退しており、景況感は悪い。
	▲	一般機械器具製造業（経理担当）	・景気は回復基調であるものの、点在する地政学的リスクに加え、世界的な半導体不足による調達環境の悪化や原材料価格の高騰、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大等の懸念材料があり、しばらく景気回復は期待できない。
	▲	輸送業（経営者）	・コロナ禍での経験を踏まえた政策が実施されているとは思えないため、今後も景気は悪化する。
	▲	輸送業（経理）	・客の中国向け輸出入量が減少傾向で推移すると予想する。
	▲	税理士事務所	・新型コロナウイルスの影響に加え、ウクライナ情勢の影響で物価が上昇する可能性もあり、購買意欲が低下すると思う。
	×	化学工業（所長）	・ロシアのウクライナ侵攻は、原油価格の高騰につながる可能性が極めて高いため、一部企業の損益に多大なる打撃を及ぼすと予想する。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束時期が不透明であることに加え、行動制限の継続や物価の上昇、ウクライナ情勢による経済的な不安の助長など、取り巻く環境は明るさがない。これらの要素は、日常生活における景況感に対しマイナスに大きく作用している。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	・アフターコロナ関連需要の活況が期待される。
	○	職業安定所（求人開発）	・新規求人数が1年前と比べ増加傾向にあり、就職率も改善している。3回目のワクチン接種も開始されたため、宿泊業や飲食業等で今後回復基調に転じると予想する。
	○	学校〔大学〕（就職担当）	・3回目ワクチン接種による新型コロナウイルス新規感染者数の減少や、まん延防止等重点措置の解除により景気が回復すると予想する。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息まではもう少し時間を要するため、現状が続く。
	▲	人材派遣会社（営業）	・年度末を迎えるに当たり、人の入れ替わりで求人ニーズが高まること予想されるが、新型コロナウイルスの影響で売上が落ち込んだ飲食業や公共交通業などは経営が圧迫されているため、新たに人を雇用することが難しいと予想する。
	▲	求人情報誌（営業）	・企業側の求人内容と求職者側の就職条件のマッチングが改善されないことが予想されるため、景気は悪化する。
	▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・企業の異動時期が落ち着き、求人数の減少が予想される。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・個人消費の拡大がなければ、民間企業の景気回復は厳しいと予想する。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響でサービス業の求人数が非常に少なく、景気も低迷している。